



三寶寺寺報 第一八七号  
 二〇〇四年四月一日発行  
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)  
 伊勢原市沼目三 十二 二  
 TEL 0463 933 5436  
 FAX 0463 933 5452  
 購読料加金 年三〇〇〇円(年・送料込)  
 郵便振替口座 一〇二〇〇〇六一〇五八五三二  
 〒259-1126

# ブダガヤ 仏陀伽耶

釈尊が悟りを開いたのはブダガヤの大きな菩提樹の下です。ここにはマハーボーディー寺院があり、仏教の四大聖地の一つです。樹齢約130年、仏陀が悟りを開いたときから数えて4代目の菩提樹となる。

啓蟄  
 二十四節気の一つで、毎年三月五、六日頃。冬こもりしていた地中から、毎年虫がはい出てくる日とされている。(天文学的には、地球上の黄経34.5度の点を太陽が通過する時)

睡眠 middha むねり・ねむけ  
 ねむりを煩惱の中に数えてあるのはおもしろい。  
 睡眠には快感があるので、大抵これを貪る念がともなっている。  
 その時は「汚れた睡眠」(染汚の眠)といわれる。仕事に精を出し切つて疲れたような場合には、自然が人間に睡眠を与えてあることに浄らかな感謝の念がともなっていく。「汚れない睡眠」(不染汚の眠)といわれる。(稲津紀三著「印度哲学史」P127より)  
 啓蟄は、感謝の睡眠から生まれた意義の営みを示す。

啓蟄  
 温熱の光の矢に刺し込まれた  
 大地から  
 背月のふし。ポット穴から出て  
 虫等  
 毎年の 燦々たるの族立ち  
 今、燦々たるの陽気

今堂

三寶寺掲示板 四月  
 他力の信心を  
 獲得するのは  
 ただ法を聞くという  
 道しかない

There is no other way to realize the shinjin of Other Power (tariki) but by listening to the Dharma.